

# 事業報告

## 平成29年度 教育事業 タイニーキャンプ②

平成29年9月23日(土)～24日(日)

【対象】小学生(低学年)

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

### ～趣旨～

小学校低学年の子供たちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。

### ～主催・後援団体～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後援：伊那市教育委員会

### ～活動日程～

時		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
9月23日(土)	10:30～受付 11:20～開会式	開会式	昼食	活動準備	“自然の中で遊ぼう” 冒険の森 「動物になって遊ぼう」			夕飯の準備	夕飯	入浴	絵本読み聞かせ	就寝準備	就寝
時	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
9月24日(日)	起床	朝のつとめ 荷物整理・清掃	朝食	“みんなで作ろう！” みんなで食べよう！” 「マヨコーンピザ作り」 「マロンケーキ作り」			閉会式	13:20～閉会式 13:50 解散					

### ～参加者～

小学1年生：30名 小学2年生：10名 合計40名

(長野県：34名、愛知県：3名、東京都：1名、山梨県：1名、静岡県：1名)

### ～活動トピックス～

#### 活動Ⅰ 「動物になって遊ぼう」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

冒険の森で、動物になりきって身体を思いっきり動かした。懸垂力・支持力・跳躍力の向上を狙った各種プログラムに積極的に取り組んでいた。その後、周辺の林を探検しながら皆で自然散策を楽しんだ。



## 活動Ⅱ 「絵本の読み聞かせ」 講師：ボランティア



各活動班毎、担当ボランティアが絵本の読み聞かせを行った。大型絵本を使ったり、子供達が好きな絵本を読んだりして、各宿泊棟で静かに読み聞かせた。子供達は皆、目を輝かせながら聞き入っていた。

## 活動Ⅲ 野外調理「マヨコーンピザ・マロンケーキ作り」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員，ボランティア

野外炊飯棟で「マヨコーンピザ」と「マロンケーキ」を作った。子供達は小麦粉をこねたり、ピザのトッピングをしたり、ホットケーキミックスを混ぜたり、火起こしの補助をしたりしながら一生懸命活動に取り組んだ。



### ～参加者の声～

#### 《参加児童》

- ・ピザ作りで生地をまるめたことを特に頑張った。またタイニーキャンプに参加したい。
- ・冒険の森までを探検したときに、ハビの抜け殻やキノコを沢山見つけることができとても楽しかった。3泊4日でのタイニーキャンプをやってみたい。

#### 《保護者》

- ・迎えの自家用車に乗るなり、すぐに「来年も絶対に行きたい。楽しかった。」と沢山の事を話してくれた。自然との触れ合いは、なかなかやりたくても連れて行けないのが現状なので、この金額で参加できたり、多くのスタッフに見守られながら元気いっぱい活動できたりして、本当に有り難い。
- ・子供にとっては、失敗して再度チャレンジしたケーキ作りが印象的だった。失敗を怖がる子なので、失敗してもやり直しがきくということをよい形で学べたのかなと思う。
- ・行く前は気がすまない様子だったが、迎えに行ったときの表情がとてもいきいきとしたいい顔をしていて、このキャンプがとても楽しかったことが伝わった。帰りの車の中でも楽しかったことを沢山話してくれ、このキャンプで大きな自信をつけたことを実感した。

### ～成果と課題～

- 今回は2日目の朝食の時間を8:00からにしたところ、その前の清掃や宿泊棟の片付けがスムーズに行えた。後のタイムスケジュールのことも考えると先に清掃、その後に朝食という流れの方が上手くいくと感じた。
- 3つのめあて「挨拶をしよう」「自分のことは自分でしよう」「みんなで協力しよう」について、それぞれの活動場面毎に「がんばりカード」を用いて振り返らせた。自分たちの活動を振り返り、頑張ったらシールを貼ったことで、次の活動への意欲向上に繋がった。
- 同じ小学校の子供がかたまってふざけてしまう場面が見られた。班編制や宿泊棟の割り当て等において、なるべく同じにならないように考慮する必要がある。